

別紙 2

上板橋第一中学校改築計画 基本構想・基本計画説明会 質問・回答一覧表

会場・開催日	内容	回答
上板橋小学校 令和4年6月10日（金）	改築工事中に本校舎ではなく、仮校舎に通うことで生徒に教育・部活動、行事などに支障は出ないのか。	支障は出ないと考えています。現在の上板橋第一中学校で行われている教育活動は仮校舎でも行われる予定です。
上板橋小学校 令和4年6月10日（金）	教科センター方式の運営についてお聞きしたい。 長男が上板橋第二中学校に通っているが、授業ごとの移動で迷ってしまう等、混乱が生じると聞いている。 メリットだけでなく、デメリットもあるのではないか。	教科センター方式は、従来の自分の教室に先生が来るシステムではなく、先生のいる教室に生徒が出向くシステムになります。 生徒が授業ごとに移動するときに迷うということが、上板橋第二中学校以外の学校でも運用当初はあったと聞いています。 赤塚第二中学校では、継続運営していくことで、生徒の自主性が育まれたという報告もされています。生徒が慣れるまで学校関係者に誘導してもらう等協力をお願いするとともに、生徒が目的の教室に迷わず行けるような部屋配置や、分かりやすいサイン計画を心がけます。
上板橋小学校 令和4年6月10日（金）	仮校舎運用時の通学に関して、特別支援学級に通う生徒への具体的な配慮は決まっているか。	特別支援学級に通学する生徒への配慮につきましては、旧校舎の引っ越しにより通学距離が直線で1.5 km以上になる生徒に対する補助だけでなく、個別具体的に意見をお聞きしながら制度設計をしていきたいと考えています。

会場・開催日	内容	回答
上板橋小学校 令和4年6月10日（金）	仮校舎運用時のバス通学について、事故や混雑でバスが遅れた場合の連絡手段はどうしたらよいか。また、その場合に遅刻扱いになってしまうのか。	事故や混雑により遅れることが事前に分かっているのであれば、従来通り学校に連絡を入れていただければ問題ありません。また、バスの運行状況については、学校でもある程度は把握できるので、当日の遅れも対応可能と考えています。 なお、バスの事故・遅延による遅れは遅刻扱いとしない予定です。
上板橋小学校 令和4年6月10日（金）	石神井川の桜並木沿いに椅子が設置されている。工事期間中は利用できるのか。	椅子が設置されている場所は学校敷地ではないことから、工事期間中も利用できると考えております。
上板橋第一中学校 令和4年6月11日（土）	直線距離で1.5kmを超える範囲が補助となっているが、実際の歩行距離となると1.5kmを超える場合も補助対象外なのか。	通学距離の設定については、直線で1.5kmとさせていただいています。実際に歩くと1.5kmを超えるというお話もありますが、通学区域の設定も直線で設定させていただいています。 なお、中学校は小学校と違い通学路の設定をしておりません。上板橋第二中学校の旧校舎への通学路につきましては、上板橋第二中学校のノウハウを生かしながら危険箇所等を把握し、通学路の安全確保に努めてまいります。
上板橋第一中学校 令和4年6月11日（土）	居住地が「学びのエリア」に該当しているが、「仮移転調整区域」に該当しない場合に優遇制度は適用されないのか。	基本的に、入学変更希望制を利用すれば区内の中学校に入学を希望することはできます。ただし、学校側の受け入れ人数に余裕がない場合には、抽選になります。 今回の「仮移転調整区域」は、上板橋第二中学校 旧校舎への引越により通学距離が直線で1.5kmを超えることへの対応としての制度として考えております。 ご質問の場合には、今回の「仮移転調整区域」による優遇制度は適用されないと考えています。

会場・開催日	内容	回答
<p>上板橋第一中学校 令和4年6月11日(土)</p>	<p>中学校の変更希望の抽選は二段階であったはず。 1回目に仮移転調整区域の指定校以外へ入学予定校変更希望して抽選漏れし、2回目の入学予定校変更希望で仮移転調整区域の指定校を希望した場合は、抽選の際に優先されるのか。</p>	<p>※説明会当日は回答できなかったため、後日回答させていただきました。 入学予定校変更希望制度において、当初の入学希望校における抽選で落ちてしまった場合には抽選未実施校や受入可能数に余裕のある学校に限り、再希望という形で手続きすることが出来ます。その際には、当初の希望した学校の補欠を辞退していただくことになります。再希望となる場合には先着順での受付となり、抽選は行われていないため優先制度はありません。</p>
<p>上板橋第一中学校 令和4年6月11日(土)</p>	<p>仮校舎運用時のバス通学について、バス通学補助の出ないエリアの生徒もバスで通学することは可能なのか。</p>	<p>原則、可能であると考えています。学校にご相談下さい。</p>
<p>上板橋第一中学校 令和4年6月11日(土)</p>	<p>仮校舎運用時のバス通学補助範囲について、通学距離が直線で「概ね」1.5kmを超える範囲という理解で良いのか。</p>	<p>バス通学補助の範囲は、原則、常盤台一丁目1～32、38～68、常盤台二丁目全域、中板橋24、28～31、弥生町23、24、29～39に居住する生徒を対象として考えています。 通学が困難である等の事情がある方については個別に相談いただき、対応について検討していきます。</p>
<p>弥生小学校 令和4年6月14日(火)</p>	<p>なぜ、現在ある上板橋第一中学校の敷地に仮設校舎を建設しないのか。</p>	<p>工事騒音や校庭利用等を考慮すると、上板橋第一中学校の校庭に仮設校舎を建設して工事を行うよりも、上板橋第二中学校の旧校舎へ引っ越して学校運営を行った方が、生徒の学習環境上良いと判断しました。</p>

会場・開催日	内容	回答
弥生小学校 令和4年6月14日（火）	仮校舎運用時のバス通学補助範囲が直線距離で1.5km以上となっているが、実際に歩く距離での1.5kmの設定とはならないのか。また、自転車通学を認めることは可能なのか。	板橋区内で他校舎においても直線距離で1.5kmの範囲内に中学校が配置されている考えがあり、同じ考え方で通学区域を設定しています。今回はその考え方を準用しているため、直線距離で1.5kmとしています。 自転車通学については、安全面から板橋区も含め近隣の区でも認めていません。現時点では自転車通学は難しいと考えています。
弥生小学校 令和4年6月14日（火）	板橋第三中学校の改築の際に、卒業式だけは新校舎で行うなど配慮があったが、上板橋第一中学校も可能か。	タイミングによっては、そのような配慮も可能だと思います。逆に、最近の上板橋第二中学校においては、新校舎に慣れていないため、旧校舎で卒業式をやりたいという学校の意見もあり、旧校舎で卒業式を行っています。卒業式については、学校や地域と相談しながら検討していきたいと考えています。
弥生小学校 令和4年6月14日（火）	特別支援学級には1.5kmよりも遠くから通う生徒もいる。特別な通学補助支援はあるか。また、特別支援学級の転校の優先枠はあるのか。	特別支援学級の通学補助については、個別具体的に相談を受け、補助の制度設計を行っていきたいと考えています。 特別支援学級の入学や転校については、教育支援センターと連携をして対応していきたいと考えています。特別支援学級の生徒へは、令和4年7月に「お知らせ」を配付し、令和4年7月～9月にかけて個別具体的に相談受付を行う予定です。 9月には、上板橋第二中学校 旧校舎の「引越先校舎の見学会※改修前」を開催し、現地も確認していただきたいと考えています。

会場	内容	回答
弥生小学校 令和4年6月14日（火）	教科センター方式というのはどのようなものか。また、板橋区は今後も教科センター方式を推していきたいと考えているのか。	教科センター方式は、従来の自分の教室に先生が来るシステムではなく、先生のいる教室に生徒が出向くシステムになります。 今回の上板橋第一中学校が赤塚第二中学校、中台中学校、上板橋第二中学校に続き、区立中学校で4校目の教科センター方式で運営される学校となります。現時点では、今後も改築する学校については教科教室型運営方式を採用する方針です。 中台中学校改築後に効果検証を行った結果、学力の向上が確認できております。また、教育現場からも生徒の自立性が高まったという声も聞いております。
上板橋第一中学校 令和4年6月16日（木）	上板橋第一中学校の改築工事中は、災害時の避難所としての機能を残す想定なのか。	工事期間中においては、上板橋第一中学校を避難所としての利用は出来ない予定です。危機管理部と連携しながら検討し、所管の方からご説明いたします。
上板橋第一中学校 令和4年6月16日（木）	基本構想・基本計画 P.37 に不登校対策についての記載があるが、赤塚第二中学校・中台中学校・上板橋第二中学校の不登校対策はどのような対策がされているのか。 また、現在の上板橋第一中学校の「マイルーム」を利用している生徒数やスクールカウンセラーの人員配置について聞きたい。	板橋区では、不登校の生徒や、なかなか教室にいないことができない生徒に対しての「居場所づくり」について、区全体として取り組みを進めているところであります。 上板橋第一中学校においても、「マイルーム」という小部屋を用意して、不登校の生徒やなかなか教室にいないことができない生徒の居場所としています。 マイルームの運営は4時間目から給食を食べる時間まで滞在し、延べ7、8人の生徒が利用しています。スクールカウンセラーは2名配置し、月曜日と金曜日に来ていただいています。また、「相談室」という部屋も用意し、そこでも相談を受け付けられるようになっています。「マイルーム」、「相談室」ともに新校舎でも設置する予定となっています。参考に、基本構想・基本計画 P.49 をご確認ください。 他校の状況につきましては板橋区全体で不登校の子どもの居場所づくりに取り組んでいますので、赤塚第二中学校・中台中学校・上板橋第二中学校についてもそれぞれの学校で取組みが進んでいると思われます。

会場	内容	回答
上板橋第一中学校 令和4年6月16日(木)	基本構想・基本計画報告 P. 33 (1) 防災拠点としての施設整備 について詳細を教えてください。	<p>避難所としての機能をもつ「体育館」のほかにも「防災倉庫」の設置を計画しています。また、EV の設置も含めた避難所利用時のバリアフリーの観点も含めた整備を進めていきます。また、避難が長期化した場合は特別教室等校舎の一部も状況に応じて避難所として運用ができる計画を検討します。</p> <p>なお、一定期間経過後は生徒が授業を受けるために本来の学校機能を復旧させたいと考えています。そのため、授業を行う普通教室と避難所運営場所との区分けをする必要があり、部屋配置や機能による区分け等の検討を行いたいと考えています。</p>
上板橋第一中学校 令和4年6月16日(木)	基本構想・基本計画報告書 P.37 小中一貫教育「学びのエリア」の推進について 体験授業以外に何か取組があるのか、また、ソフト面以外のハード面についてもなにか想定しているものがあるのか。	<p>「学びのエリア」の取り組みとして小学校6年生に対する上板橋第一中学校の学校説明を9月の中旬くらいに予定しています。また、「学びのエリア」内の小学校に対しては可能な限り上板橋第一中学校の教員が小学校に出向いて出前授業も行っています。</p> <p>現校舎が建設された時代には、小中連携の考え方がなかったため、現校舎にはそのようなスペースがありません。</p> <p>新校舎においては「学びのエリア」内の常盤台小・上板橋小・弥生小の児童が上板橋第一中学校に来訪した際に学べる空間を設けたいと考えています。具体的にどのようなスペースにしていくかは、設計段階で学校と相談しながら検討していきたいと考えています。</p>

会場	内容	回答
上板橋第一中学校 令和4年6月16日(木)	今回の新しい取り組みについて、予算の面での工夫など検討中のものがあれば教えてほしい。	<p>具体的な予算の削減は計画を進めていく上で検討を継続していきたいと考えています。現時点では、自校敷地に仮設校舎を建設しない運用方式（上二中の旧校舎を仮校舎として使用する）は、予算削減の一つと考えています。</p> <p>予算削減をめざしながらも、学校施設は子どもたちのものであるべきと考えています。予算削減が子供たちにとって悪い影響はないようにしなければならないと考えています。</p>
上板橋第一中学校 令和4年6月16日(木)	新校舎の校庭はダストになるのか、人工芝になるのか。また、地域の方が利用するようなテニスコートをつくることや、体育館を地域に開放するようなことは考えているのか。	<p>地域と共にある学校ということで計画を進めています。最近、建設した板橋第十小学校は「地域連携ルーム」を設けて地域の方が活動する場所を確保しています。そういう場で、地域の方にも学校の運営に携わっていただきたいと考えております。</p> <p>学校施設の地域開放については、学校運営の支障がない範囲で校庭や体育館を開放しています。中学校は部活動があるので難しい面もあると思いますが、新校舎においても校庭・体育館等の地域開放についても検討していきたいと考えています。</p>
上板橋第一中学校 令和4年6月16日(木)	上板橋第一中学校にテニス部がなくてもテニスコートにテニスポールを設置するなど、地域のための設備の拡張性はあるのか。	<p>地域のための設備設置については、今後の検討によると考えています。原則、学校運営によるものを最優先に設置したいと考えています。</p>